

やまはし

自治センターだより

令和4年 10月号

- ◎ 編集と発行 山橋自治センター
- ◎ でんわ 26-1065 番 ◎ FAX 26-3109 番
- ◎ 発行責任者 芳賀 眞一
- ◎ 発行所職員 長谷川信光; 湯澤千春
- ◎ 発行日 令和4年 10月1日



文化祭

11月5・6日(2日間)開催!!

本年度の山橋地区文化祭は、従来1日だけだったものを今回から、2日間実施とする予定です。せっかくの作品展示が、1日だけでは勿体ない、残念だ、などの声にこたえ実施するものです。内容については、展示を中心とした催しとなる見込み(細部は、実行委員会で決定)です。広く作品を受け付けますので、気軽に自治センターまで申し込みください。

“こけ玉づくり教室”を開催

各団体や講座において、文化祭作品づくりも進んでいますが、豊遊塾(鈴木勝徳塾長)では、今年も「こけ玉づくり教室」を開催しました。講師には、小木豊治さんに依頼し、材料は、岩ショウブをケト土で包み込み水盤や小皿にあげて完成です。参加者は、思い思いに奮闘し、作品完成させました。完成品は、文化祭において展示します。

石川町敬老会から

多年にわたり社会に貢献してきた高齢者を敬愛し、長寿を祝う趣旨により、毎年敬老会を実施してきましたが、今年も催しができませんでした。山橋地区では、75歳以上275名、{前年度より19名増}このうち、満88歳到達者18名に祝金、満80歳到達者18名に長寿ざふとん、さらには、新に仲間入りした36名に祝金がそれぞれ贈呈されました。また、全員に町内菓子店製造のお菓子詰め合わせセットが配られました。これらの配布については、民生委員山橋方部会(高原孝方部長)の皆さんが対応していただきました。

高齢者の買物支援車(ミニバス)が12月から、運行されます。これは、買物などに不便な方のため、自宅の玄関からメガステージ石川までの往復運行で、料金は、無料です。詳しくは、10/1付町広報で

ふるさと塾生で、^{いっさいきょうざん}一切経山登山研修

ふるさと塾(橋本勝茂委員長)生による、一切経山登山研修が、9月13日実施されました。一部ガスがあったものの幸い、天候にも恵まれ、頂上からの五色沼(写真、通称、魔女の瞳)の眺望もよく、疲れも吹き飛びました。全員落伍者もなく、無事登山を終了でき、心地よい疲れに浸ることができました。



“支えあい”の地域づくりをめざして…

山橋地区自治協議会福祉部会(高原孝部会長)では、“住民一人ひとりが安心して暮らすせるよう、地域福祉の向上をめざし、その仕組みづくりを進めています。

- ① 隣近所との交流促進による、コミュニティの形成
- ② 向こう3軒両隣の助け合い精神で、地域内の見守りと助け合いの実践



案内看板の設置



山橋まちづくり委員会、景観づくり部会(矢内壮幸部会長)では、このほど地区内の神社・仏閣等の案内看板を設置しました。従来あったものもありましたが、劣化が目立つようになり、今回新調したものです。今回は板橋・南山形地区を対象に交換しましたが、次年以降これ以外の地区分も新調する予定です。色合いも良く、見栄えのする看板です。大事に見守っていただきたいと思ひます。

しあわせ金婚夫婦表彰

結婚 50 年と、一言で言いますが、その長い年月には幾多の喜怒哀楽が、あったものと思われまふ。今年、当地区から、次の 4 組の方たちが該当しました。この表彰は、福島民報社・福島県老人クラブ連合会の連名による表彰状と記念品を水野英也山橋長寿会長から、この程伝達を行いました。誠におめでとうございました。そして末永いご健康と、ご多幸をお祈りいたします。

ご夫婦氏名	地域名	ご夫婦氏名	地域名
遠藤 計 様 喜久枝様ご夫妻	山 形	添田忠一様 千枝子様ご夫妻	北山形
緑川一広様 良子様ご夫妻	山 形	橋本勝茂様 重子様ご夫妻	山 形

記念碑調査から 「ふるさと塾」 調査

⑦ 山橋中学校廃校記念碑

(所在: 南山形字中野沢)

昭和 52 年 3 月 31 日

十文字新寿 書

沿 革

昭和 22 年 4 月 25 日学制改革の実施に伴い、この地に石川郡山橋村立山橋中学校を創立した 昭和 30 年町村合併により、石川町立山橋中学校と改称され、開校以来 1,917 名の卒業生を送り出した 然るところ在校生徒数 261 名を最高に年々減少し、現在 101 名となり今後も減少の傾向を示すに到った 依って当地区においては、町当局は勿論、町内中学校関係者と幾度となく協議を重ねた結果、山橋 石川 野木沢 母畑 中谷の 5 校が統合し新たに石川町立石川中学校として、昭和 52 年 4 月 1 日より発足することになった 茲に、30 年の伝統を閉じ、廃校になるにあたりこれを永遠に記録するため、この碑を建立する



なつかしの童謡・唱歌 ②

♪ “赤とんぼ” ♪

1. 夕焼、小焼の あかとんぼ 負われて見たのは いつの日か
2. 山の畑の 桑の実を 小籠(こかご)につんでは まぼろしか
3. 十五で 姐(ねえ)やは 嫁にゆき お里の たよりも たえはてた
4. 夕やけ 小やけの 赤とんぼ とまっているよ 竿(さお)の先



文 芸

(川柳)

☆ 太楽キヨ子さんの作品

・ 月冴えて 一人静かに 虫の音をきく ・ タクシーを 降りればこぼれる ハギの花

☆ 小湊ミドリさんの作品

・ 敬老の日 戦死の父の 日記読む ・ 蝸(ひぐらし)の なき声涼し 散歩道

編集雑感

・ 9 月は防災月間、今月半ばの台風 14 号は、史上最大級との触れ込みもあり心配しましたが、当地は、被害も少なく安心したところです。でも災害は、忘れたころにやってくるのフレーズもあり、気が抜けません。みんなで災害のない地域づくりを……